

第2回 貧困と子どもの健康 シンポジウム

貧困は子どもの健康を悪化させます。日本では医療関係者の中での、そういう認識は余りありませんでした。しかし今、医療関係者の中では、貧困問題への関心は急速に広がっています。今回は、午前は、貧困問題に関する演題発表を受けての討論。午後は、「小児科学は子どもの貧困にどう取り組むか」をテーマとしたシンポジウムで、3人の演者の方の報告を受けて、みなさんと共に考えたいと思います。
医療関係者だけでなく、他分野の方・一般市民の方の参加を歓迎いたします。

日時

2016年 **12月4日(日)** 10:00~16:00
受付開始 9:30~

会場

東京大学医学部教育研究棟 14F **鉄門記念講堂**

参加費

医師 2,000円 / 一般 500円
【学生・支払い困難な方 無料】

※昼食のご用意はございませんので
各自でご持参ください。

<プログラム>

『一般演題』 10:00~12:20

「医学生が健康の社会的決定要因を学ぶ理由」

石原俊太郎・渋谷誠 (順天堂大学医学部 3年生)

「健康の社会的決定要因の学びが起こした変化」

武藤優樹・吉田昂平 (順天堂大学医学部 4年生)

「米国小児科学会の提言を読む」

酒井 慧 (松本協立病院 小児科)

「小児科医として、つなぐ -診察室の

『ちょっと気になる』こどもと家族-

山口有紗 (茅ヶ崎市立病院 小児科)

「世帯収入に基づく子どもの生活実態

~佛教大学脱貧困プロジェクト医療機関調査より~

佐藤洋一 (和歌山・生協こども診療所)

~休憩~

『シンポジウム』 13:20~

-小児科学は子どもの貧困にどう取り組むか-

五十嵐隆 (国立成育医療研究センター理事長・日本小児科学会前会長)

「子どもの健康と貧困」

近藤克則 (千葉大学予防医学センター教授・国立長寿医療研究センター部長)

「貧困はどのようにして健康に影響するか」

和田 浩 (健和会病院 小児科)

「現場でどう気づき支援するか」

閉会 16:00

-会場へのアクセス-



主催 : 貧困と子どもの健康シンポジウム実行委員会
協賛 : 日本プライマリ・ケア連合学会
後援 : 日本外来小児科学会・東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター
問い合わせ : 和田浩 〒395-8522 長野県飯田市鼎中平 1936 健和会病院小児科
TEL:0265-23-3115 E-mail:zan07102@nifty.com